

基本方針 1	専門的な資料・情報や地域資料等を収集、蓄積し、県民の調査研究に対する支援機能を充実する。									
重点目標 1	課題解決支援サービスの推進									
重点取組	資料の分担分野に対応した課題解決支援サービスの充実									
評価指標	レファレンス処理件数（個人）									
	27 年度末	28 年度末	29 年度末	30 年度末						
目標値	—	46,250	48,000	50,000						
実績値	35,486	42,938	33,205							
重点取組の評価及び評価理由	<p>レファレンス処理件数（個人）は目標値の 69%、前年度比 23%減となった。うち事項調査は 20%増加したが、所蔵調査と利用案内（簡易な質問）は合わせて 28%減少した。浦和分室の半年近い閉室、予約・リクエスト件数の制限導入、経験年数が浅い職員の比率が増加していること等、図書館運営上の変化が影響を及ぼしていると考えられる。近年インターネット上で図書やビッグデータ等の情報公開が充実し、埼玉県立図書館でもウェブサイト上での情報提供に力を入れてきたため所蔵調査等の簡易な質問は減ったが、情報が溢れる時代だからこそ効率的で確かなリサーチが求められ、事項調査は増加していると考えられる。今後も潜在的なニーズを掘り起こす工夫が必要である。</p> <p>「課題解決支援サービスの推進」については、熊谷図書館のビジネス支援サービス、久喜図書館の健康医療情報サービスとも、資料・データベースの充実、連携先の拡大と関係の深化、ニーズに即したイベント開催、職員専門研修開催等に取組んだ。その結果、より深く専門的な情報提供が進み、課題解決サービスの認知も広がってきている。</p>			<table border="1"> <tr> <td>28 年度</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>29 年度</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>30 年度</td> <td></td> </tr> </table>	28 年度	3	29 年度	2	30 年度	
28 年度	3									
29 年度	2									
30 年度										
行動計画実施状況・成果・課題・平成 30 年度取組予定	<p>1 行動計画実施状況・成果</p> <p>(1) ビジネス支援室（熊谷図書館）充実及びサービスの充実 / 健康・医療情報コーナー（久喜図書館）の充実及びサービスの推進</p> <p>新規事業予算により図書・逐次刊行物を充実した。外部データベースを新たに 2 館で 6 種契約し、全国的にも有数の 22 種のデータベースを提供した。</p> <p>(2) 県民の生活や経済活動を支えるビジネス関連情報提供の推進 / 県民のヘルスリテラシー向上に役立つ健康・医療情報提供の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座・講演会等イベント開催、視察受入れ（計 52 回、参加者数延べ 1,824 人） がんセンター地域連携・相談支援センターと連携して「がんと仕事」をテーマに講演会、相談会、展示を開催。また講座、ワークショップ、展示による「ビジネスライブラリカフェ～ベトナムで働きたいあなたに」を開催するなど、新しい事業に取り組んだ。 ・ 情報リテラシー支援の推進 ビジネス、健康・医療に関する調べ方講座を開催し（計 5 回）、講演会開催時や外部イベントでも関連情報案内を実施。ウェブサイト上でも年間を通して新しい情報を提供した（更新回数 47 回）。テーマ別「調べ方案内」「資料リスト」を合計 10 点作成した。資料展示・パネル展示を計 5 回開催した。 ・ 研修の実施 「高等学校初任者研修 教科別研修（商業）」を総合教育センターと共催。県立・市町村 									

【重点目標 1 重点取組評価シート】

平成 29 年度末

	立図書館職員を対象に「ビジネスライブラリアン講習会 埼玉開催」を実施した。		
	(3) 非来館型レファレンスサービスの推進 レファレンス受付ページを申し込みやすいように変更し、質問事例紹介では各館の分野による事例を掲載した。また情報の探しかた講座の情報とテキストを掲載した。		
	2 課題・平成 30 年度取組予定 図書・雑誌・データベースをさらに充実し、連携先との協力によるサービスの充実及び広報に努める。職員専門研修を実施し市町村立図書館の支援と連携を進める。「リサーチガイド」改訂版 2 種を配布し活用する。経験の浅い職員を対象とするスキルアップ研修、時代の変化に即した効果的な広報などレファレンス件数増のための新たな方策を検討する。		
参考指標 (事業統計)	28 年度末	29 年度末	30 年度末
指標 1	ビジネス支援、健康・医療情報関係レファレンス処理件数 (個人)		
実績値	430 件	405 件	
指標 2	ビジネス支援、健康・医療情報関連イベントの開催回数・参加人数		
実績値	57 回・484 人	52 回・1,824 人	
指標 3	レファレンス協同データベース提供件数・アクセス件数		
実績値	8,067 件・3,302,655 件	8,314 件・4,124,490 件	
指標 4	ウェブサイトアクセス件数・更新回数 (ビジネス支援サービス、健康・医療情報サービス)		
実績値	14,452 件・47 回	12,337 件・47 回	
参考指標 (満足度)	28 年度末	29 年度末	30 年度末
指標 1	利用者アンケート		
実績値	4.1 (5 段階評価)	4.1 (5 段階評価)	
指標 2	利用者ウェブアンケート		
実績値	66.7%が「満足」「やや満足」	66.6%が「満足」「やや満足」	
指標 3	イベント参加者アンケート		
実績値	4~4.8 (5 段階評価)	4.6~4.9 (5 段階評価)	

参考 (丸囲み数字は行動計画 No.)

行動計画 【重点取組に対応する取組】	○: 計画 ●: 実施 →: 継続	H28	H29	H30
①【ビジネス支援室 (熊谷図書館) の充実及びサービスの充実】 ・最新のビジネス関連資料、オンラインデータベース等の各種ビジネス情報源の充実を図り、レファレンスサービスを推進する。	●	→	→	
②【健康・医療情報コーナー (久喜図書館) の充実及びサービスの推進】 ・健康・医療情報資料、情報源等の充実を図り、レファレンスサービスを推進する。	●	→	→	
③【県民の生活や経済活動を支えるビジネス関連情報提供の推進】 ・ビジネス支援関連の講座・講演会、資料展・パネル展示等を開催するとともに、『仕事に役立つリサーチガイド』の改訂・配布を行う。	●	→	→	
④【県民のヘルスリテラシー向上に役立つ健康・医療情報提供の推進】 ・健康・医療情報関連の講座・講演会、資料展・パネル展示等を開催するとともに、『健康・医療情報リサーチガイド@埼玉』の改訂・配布を行う。	●	→	→	
⑤【非来館型レファレンスサービスの推進】 ・ウェブサイトからのレファレンス受付等、非来館型レファレンスの推進を図るとともに、2 館が一体となり迅速な調査・回答に努める。	○●	→	→	
⑥【レファレンス事例データの一般公開の推進】 ・レファレンス事例データを適正に入力・管理し、国立国会図書館「レファレンス協同データベース」への計画的提供に努める。	●	→	→	